

ニッセイ インターネットアンケート

～「勤労感謝の日・仕事」に関する調査結果について～

日本生命保険相互会社(社長:筒井義信)は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューのひとつとして、ホームページ(<http://www.nissay.co.jp>)内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「勤労感謝の日・仕事」に関するアンケート調査を実施いたしました。

《調査概要》

- 調査期間：2017年9月29日(金)～10月6日(金)
- 調査方法：インターネットアンケート(「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニュー)
- 回答者数：8,587名(男性:4,853名、女性:3,734名)

<年代別回答者数>

[名、%]

年代							
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
男性	269	642	994	1,111	539	179	3,734
女性	220	688	1,462	1,553	715	215	4,853
合計	489	1,330	2,456	2,664	1,254	394	8,587
占率	5.7	15.5	28.6	31.0	14.6	4.6	100.0

《調査結果のポイント》

ポイント①

質問 1

- 仕事に「満足」している方の割合は70.5%となり、年代が上がるにつれ、満足している割合は増加傾向となった
 - －業種別にみると、「農業・林業・漁業」と「不動産業」は相対的に満足度が高い
 - 一方、「運輸業・郵便業」は相対的に低くなった

ポイント②

質問 2,3

- 1日の勤務時間は平均8.6時間となり、業種別で見ると、「運輸業・郵便業」が9.2時間、「不動産業」が7.7時間と、その差は1.5時間となった
 - －昨年と比較して、時間外労働は「減った」と回答した方は26.1%となり、業種別で見ると、「農業・林業・漁業」は最も占率が高く47.2%となった
- 職場で「ストレスを感じる」と回答した割合は71.5%と、7割以上の人がストレスを感じている
 - －職場でのストレス要因として最も多いのは「仕事内容・裁量度(55.6%)」となった
 - －人間関係でのストレスでは「上司」・「同僚」・「部下」の中で、「上司へのストレス」が最も多かった

ポイント③

質問 6

- 職場での「飲みニケーション」を「必要」だと思う方の割合は62.0%となり、約3人に2人が「必要」と感じている
 - －「飲みニケーション」を「必要」だと思う理由は「本音を聞ける・距離を縮められる(71.3%)」が圧倒的に多く、「不要」と思う理由は「仕事の延長と感じる(41.9%)」が最も多かった

質問 1-1 今の仕事に満足していますか？※複数回答可（回答者数：6,080名）

質問 1-2 【1-1で「満足している」と回答した方への質問】

今の仕事に満足している理由は何ですか？※複数回答可（回答者数：4,172名）

○仕事に「満足」している方の割合は70.5%となり、年代が上がるにつれ、満足している割合は増加傾向となった
 -業種別にみると、「農業・林業・漁業」と「不動産業」は相対的に満足度が高い一方、「運輸業・郵便業」は相対的に低くなった

○仕事に満足している理由は「仕事内容・裁量度」が最も多く、次いで「勤務時間」となった
 -男女別にみると、男女ともに1位は「仕事内容・裁量度」。次いで、男性は「給与(22.2%)」、女性は「勤務時間(25.3%)」、「人間関係(24.8%)」となった

-年代別にみると、30代以下の方は、40代以上の方より「人間関係」、「福利厚生の実度(休暇日数など)」、「成長できる職場環境」を重視する傾向にある

【仕事に満足しているか】

<男女別>

	はい	いいえ
男性	71.3%	28.7%
女性	68.7%	31.3%
全体	70.5%	29.5%

<年代別>

	はい	いいえ
~20代	66.2%	33.8%
30代	67.3%	32.7%
40代	67.2%	32.8%
50代	72.9%	27.1%
60代~	81.6%	18.4%

<業種別>

	はい	いいえ
農業・林業・漁業	81.1%	18.9%
不動産業	79.8%	20.2%
公務	76.3%	23.7%
建設業	72.3%	27.7%
教育・医療・福祉	71.7%	28.3%
製造業	71.7%	28.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	70.6%	29.4%
金融業・保険業	70.3%	29.7%
その他	69.7%	30.3%
サービス業	68.5%	31.5%
卸売業・小売業	66.6%	33.4%
情報通信業	65.5%	34.5%
運輸業・郵便業	61.1%	38.9%

【仕事に満足している理由】
 「農業・林業・漁業」、「不動産業」の方の1位はともに「仕事内容・裁量度」、次いで、それぞれ「福利厚生の実度(休暇日数など)」、「勤務時間」となった

【仕事に満足していない理由】
 「運輸業・郵便業」の方の1位は「給与」、次いで、「勤務時間」となった

【仕事に満足している理由】

<男女別>

順位	内容	全体	男性	女性
1位	仕事内容・裁量度	45.9%	49.3%	38.6%
2位	勤務時間	22.2%	20.8%	25.3%
3位	人間関係	20.8%	19.1%	24.8%
4位	給与	20.7%	22.2%	17.3%
5位	福利厚生の実度(休暇日数など)	19.8%	19.2%	20.9%
6位	雇用形態	14.6%	15.1%	13.5%
7位	成長できる職場環境	11.9%	12.4%	10.7%
8位	働き方の柔軟性	11.3%	10.8%	12.5%
9位	評価制度	2.4%	2.7%	1.8%

<年代別>

	全体	～20代	30代	40代	50代	60代～
仕事内容・裁量度	45.9%	36.2%	39.5%	46.1%	49.3%	54.6%
勤務時間	22.2%	18.6%	23.6%	21.8%	22.5%	23.8%
人間関係	20.8%	28.8%	24.3%	20.7%	18.8%	17.9%
給与	20.7%	17.3%	20.5%	21.2%	23.3%	14.9%
福利厚生充実度（休暇日数など）	19.8%	24.7%	26.0%	18.0%	19.5%	13.8%
雇用形態	14.6%	12.5%	14.7%	14.2%	15.8%	14.4%
成長できる職場環境	11.9%	16.1%	16.4%	11.4%	10.5%	8.2%
働き方の柔軟性	11.3%	9.2%	12.1%	10.2%	10.9%	17.1%
評価制度	2.4%	2.6%	3.2%	2.0%	2.7%	1.1%

質問2-1 1日の勤務時間はどれくらいですか？※休憩時間を除く（回答者数：5,762名）

質問2-2 昨年と比較して、時間外労働は減っていると思いますか？（回答者数：6,080名）

質問2-3 【2-2で「減っている」と回答した方への質問】

時間外労働の削減に向けた職場での取組はありますか？※複数回答可（回答者数：1,541名）

- 1日の勤務時間は平均 8.6 時間となり、業種別で見ると、「運輸業・郵便業」が 9.2 時間、「不動産業」が 7.7 時間と、その差は 1.5 時間となった
- 昨年と比較して、時間外労働は「減った」と回答した方は 26.1%となり、業種別でみると、「農業・林業・漁業」は最も占率が高く 47.2%となった。一方、「運輸業・郵便業」と「教育・医療・福祉」の 3 割以上の方は「減っていない」と回答した
- 時間外労働の削減に向けた取組として、最も多いのは「業務分担・内容の見直し、削減(39.1%)」となった

【1日の勤務時間】

<男女別>

	時間
女性	8.1
男性	8.8
全体	8.6

<業種別>

	時間
運輸業・郵便業	9.2
製造業	8.7
情報通信業	8.7
建設業	8.7
金融業・保険業	8.6
サービス業	8.6
公務	8.6
教育・医療・福祉	8.5
電気・ガス・熱供給・水道業	8.5
卸売業・小売業	8.4
農業・林業・漁業	7.9
不動産業	7.7

1.5
時間差

【時間外労働は減っているか】

<男女別>

	はい	どちらでもない	いいえ
女性	24.7%	50.0%	25.3%
男性	26.7%	46.1%	27.2%
全体	26.1%	47.3%	26.6%

<業種別>

	はい	どちらでもない	いいえ
農業・林業・漁業	47.2%	36.1%	16.7%
情報通信業	37.1%	40.7%	22.2%
金融業・保険業	35.1%	39.9%	25.0%
卸売業・小売業	29.7%	49.7%	20.6%
電気・ガス・熱供給・水道業	27.4%	48.1%	24.4%
製造業	27.1%	47.7%	25.2%
公務	26.6%	45.8%	27.7%
建設業	25.1%	50.4%	24.6%
サービス業	22.4%	48.2%	29.4%
運輸業・郵便業	21.3%	44.8%	33.9%
教育・医療・福祉	18.1%	46.5%	35.4%
不動産業	14.7%	62.4%	22.9%

【時間外労働の削減に向けた職場での取組】

順位	内容	占率
1位	業務分担・内容の見直し、削減	39.1%
2位	管理職の意識改革	29.1%
3位	非管理職の時間意識の醸成	24.9%
4位	社内運営の工夫（早帰りデー・PCシャットダウン等）	23.6%
5位	人員の増員	10.3%
6位	ITツール・AIの導入	8.3%

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 久我尚子のコメント>



現在、「働き方改革」にて長時間労働の是正が進められていますが、長時間労働、すなわち時間外労働の量は仕事に対する満足度にも影響するようです。

1日の勤務時間が最も長く、時間外労働が減らないと答える割合も高い「運輸業・郵便業」では、仕事の満足度が最も低くなっています。

「運輸業・郵便業」では、ネット通販利用の増加に加え、単身世帯や共働き世帯の増加により留守宅が増えたことで、再配達ロスの問題なども抱えており、長時間労働の是正が難しい状況にあります。日本の宅配サービスは配送の高速さや細かな時間設定など諸外国と比べて高品質ですが、その商慣行は過剰サービスとの指摘もあります。労働者の環境改善には、荷主側の理解をはかりサービス内容を見直すこと、給与をはじめとした待遇改善により他産業から労働者の移動を促進すること、そして、AI活用による生産性向上などがあげられます。

質問3-1 職場でストレスを感じますか？（回答者数：5,755名）

質問3-2 【3-1で「感じる」と回答した方への質問】

職場で何に対してストレスを感じますか？※複数回答可（回答者数：2,611名）

○職場でストレスを「感じる」と回答した割合は71.5%と、7割以上の方がストレスを感じている
 ○職場でのストレス要因として最も多いのは「仕事内容・裁量度(55.6%)」となった
 一人間関係でのストレスでは、「上司」・「同僚」・「部下」の中で「上司へのストレス」が最も多かった

【職場でストレスを感じるか】

	感じる	感じない
男性	71.0%	29.0%
女性	72.8%	27.2%
全体	71.5%	28.5%

【職場でのストレス要因】

順位	内容	全体
1位	仕事内容・裁量度	55.6%
2位	上司との関係	33.7%
3位	同僚との関係	22.1%
4位	給与	19.9%
5位	評価制度	17.1%
6位	勤務時間	16.2%
7位	部下との関係	13.0%
8位	働き方の柔軟性	8.3%
9位	雇用形態	5.1%

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 久我尚子のコメント>

2015年12月から、従業員50名以上の事業所に対してストレスチェックの実施が義務付けられました。

「ストレスの見える化」で、どの従業員がストレスを抱えているのかを把握しやすくなりましたが、労働者1人1人の状況だけでなく、組織単位で傾向を分析し、組織全体でストレス低減に努めると、より効果的でしょう（集団ごとの集計・分析は努力義務）。また同時に、長時間労働など、明らかにストレスを生みやすいことが分かっている状況については、引続き改善していく必要があります。

質問4 【50代以下の方への質問】定年は何歳が適当だと思いますか？（回答者数：5,755名）

○定年として適当な年齢は「65歳」が52.9%で最も多く、「60歳」は27.9%となった

【定年の年齢】

	～59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳～	平均
占率	3.1%	27.9%	0.0%	0.6%	1.4%	0.1%	52.9%	14.0%	63.6歳

質問5-1 【50代以下の方への質問】

今の職場に尊敬できる上司はいますか？（回答者数：5,450名）

質問5-2 【5-1で「はい」と回答した方への質問】

尊敬できる上司とはどんな方ですか？※複数回答可（回答者数：2,388名）

質問5-3 今の職場に期待できる部下はいますか？（回答者数：6,080名）

質問5-4 【5-3で「はい」と回答した方への質問】

期待できる部下とはどんな方ですか？※複数回答可（回答者数：2,452名）

○尊敬できる上司が「いる」割合は50.9%、期待できる部下が「いる」割合は55.8%となった
 - 「尊敬できる上司がいない」と回答したのは49.1%、「期待できる部下がいない」と回答したのは44.2%と、それぞれ約2人に1人は「いない」と回答した
 ○尊敬できる上司では「気遣いができる(49.7%)」が最も多く、期待できる部下では「行動が早い(48.9%)」が最も多くなった

【尊敬できる上司はいるか】

	はい	いいえ
男性	49.6%	50.4%
女性	53.8%	46.2%
全体	50.9%	49.1%

【期待できる部下はいるか】

	はい	いいえ
男性	58.7%	41.3%
女性	46.5%	53.5%
全体	55.8%	44.2%

【尊敬できる上司とはどんな方】

順位	内容	占率
1位	気遣いができる	49.7%
2位	頭が良い・仕事ができる	45.3%
3位	行動力・決断力がある	42.3%
4位	偉そうにしない・誰にでも謙虚な態度	32.5%
5位	常に冷静	26.2%
6位	適切な仕事の差配	21.5%
7位	自分自身の話をよく聞いてくれる	21.3%
8位	仕事とプライベートのメリハリがある	15.4%
9位	周りから好かれている	11.6%

【期待できる部下とはどんな方】

順位	内容	占率
1位	行動が早い	48.9%
2位	自主性がある	48.5%
3位	熱意がある・志が高い	44.1%
4位	気遣いができる	42.9%
5位	コミュニケーション能力が高い	37.5%
6位	専門性がある	19.6%
7位	頭が良い・仕事ができる	19.6%
8位	周りから好かれている	14.5%
9位	仕事とプライベートのメリハリがある	12.2%

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 久我尚子のコメント>

適当な定年年齢を65歳と答える割合が半数を超えていますが、これは年金支給開始年齢の引上げに伴う「高年齢者雇用安定法の改正」(希望者全員を65歳まで雇用義務化)が影響しているのでしょう。
 ところで、男性は尊敬できる上司がいる割合が半数を下回る一方、期待できる部下がいる割合は半数を超えており、女性では逆となっています。現在のところ、男性は女性よりリーダーシップ気質が強いようですが、今後「女性の活躍促進」が更に進むことで、女性も男性と同様の傾向を示すようになる可能性もあるでしょう。

質問6-1 職場での“飲みニケーション※”は必要だと思いますか？（回答者数：5,901名）

※お酒を飲みながら語り合い、親交を深めること

質問6-2 【6-1で「必要」と回答した方への質問】※複数回答可（回答者数：3,560名）

職場での“飲みニケーション”が必要だと思う理由は何ですか？

質問6-3 【6-1で「不要」と回答した方への質問】※複数回答可（回答者数：2,178名）

職場での“飲みニケーション”が不要だと思う理由は何ですか？

○職場での“飲みニケーション”を「必要」だと思う方の割合は62.0%となり、約3人に2人が「必要」と感じている
 一年代別にみると、全年代の約6割以上の方が「必要」と感じている
 ○“飲みニケーション”を「必要」だと思う理由は「本音を聞ける・距離を縮められる(71.3%)」が圧倒的に多く、
 「不要」と思う理由は「仕事の延長と感じる(41.9%)」が最も多かった

【飲みニケーションは必要だと思うか】

<男女別>

	必要	不要
男性	65.5%	34.5%
女性	53.7%	46.3%
全体	62.0%	38.0%

<年代別>

	必要	不要
～20代	60.6%	39.4%
30代	59.8%	40.2%
40代	60.3%	39.7%
50代	64.2%	35.8%
60代～	64.9%	35.1%

【必要だと思う理由】

順位	内容	占率
1位	本音を聞ける・距離を縮められる	71.3%
2位	情報収集を行える	37.5%
3位	悩みを相談できる（仕事）	31.1%
4位	ストレス発散になる	31.0%
5位	人脈を広げられる	30.1%
6位	悩みを相談できる（プライベート・その他）	16.8%
7位	お酒が好きだから	9.4%
8位	色々なお店に行ける	5.1%
-	その他	1.7%

【不要だと思う理由】

順位	内容	占率
1位	仕事の延長と感じる	41.9%
2位	気を遣う	38.7%
3位	お酒が好きではない	33.5%
4位	拘束時間が長い	30.3%
5位	お金がもったいない	29.7%
6位	職場でコミュニケーションが十分取れている	18.7%
7位	上司が嫌い	7.4%
8位	説教をされたくない	5.7%
-	その他	13.3%

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 久我尚子のコメント>

“飲みニケーション”というと、若者は古い印象を持ちそうですが、20代でも“飲みニケーション”を必要だと思う割合は6割を超え、全体でも62%を占めて高くなっています。“飲みニケーション”を必要だと思う理由は「本音を聞ける・距離を縮められる」が圧倒的に多い状況から、職場では本音を話しにくいために、同僚と本音でコミュニケーションをはかれる場を求めている方が多い様子を読み取れます。昨今、職場ではセクハラ、パワハラ、マタハラなど、様々なハラスメントリスクが問題になっています。ハラスメントは撲滅すべきですが、行き過ぎた配慮も生まれることで、職場でのコミュニケーションに対して必要以上に敏感になっている方もいるのかもしれない。

以上